

阿久和南部地区

歴史があり、今でも古き良き横浜の原風景が残る

地区の特色は

どんなところでしょ？

瀬谷区内には多くの神社があります。中でも阿久和南部地区にある熊野神社は、平安時代に建てられた瀬谷区最古の神社だそうです。江戸時代になると阿久和村領主の安藤治右衛門が力を尽くして、熊野神社が再興されました。そういう意味では歴史のある地区だと思えます。戦前、戦中は食糧難もあり、農作が盛んでした。米麦、諸類の栽培が多く、スイカもこの地から東京方面へ出荷されました。さらに、一部ではゆり根の栽培もあったようです。農家は少なくなっていますが、今でも古き良き、横浜の丘陵地の風情や農業地区としての原風景が残っているところだと思えます。



左から：斉藤 ユートピア自治会会長／土居 阿久和住宅自治会会長／相原 保護司／北井 地区連合会長／桐生 地区社協副会長／鈴木 親和自治会会長／細川 原店自治会会長

防犯に対して独自の取組があるようですが。

見守り活動である「防犯パトロール」を定期的に行っています。まず、地区の中に防犯の拠点となる「防犯ステーション」を作り、地区で軽自動車を購入しました。当初は三人体制で、一人がステーションに残り、二人が青い回転灯のついた車に乗って、「防犯パトロール」を毎日行っていました。現在は駆け込む方もいなくなりましたので、月・木・土曜日の週3日間、パトロールのみ行っています。

地区の将来像は？

自治会への参加率を上げるために、自治会の効用を住民の皆さんにもっとお知らせする必要があります。特に効用があるのは災害の時で、自治会の存在が最も重要になります。また、若い世代の方たちにとって、この地区が自分たちの「ふるさと」という意識を持っていただけると嬉しいです。結婚して一度は外に出た方たちが戻ってきて、子どもを連れて行事に参加するケースも多々あるようです。子ども祭り、南部祭り、どんど焼きなど、一年を通じて様々な行事があります。子どもたちにも日本の文化を伝える意味でも、今後も継続してさらなる交流の場になればと考えています。

行事紹介



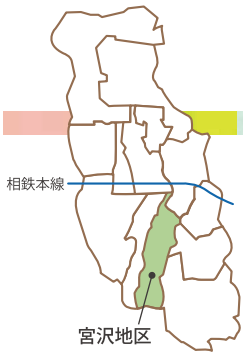
どんど焼き

毎年、松が明ける1月の中旬に、地区の中央部にある阿久和大久保原公園で行われます。地区にお住いの皆さんが、役割の終わった門松などのお正月飾りを持ち寄り小山のように積み上げます。次に3m以上もある竹竿の先にお団子を刺したら準備完了。お正月飾りの山に火を放ち盛大に炎が上がってきたら、そこに竿をかざして、焦がさないように注意しながらお団子を焼き上げます。竹竿は何十本も準備されますが、時には順番待ちの列ができる大盛況になることも！最後は、焼きあがったばかりの湯気の上がるお団子を食べて、1年の無病息災を祈ります。



南部まつり

「南部まつり」はお盆をひかえた夏の行事です。地区内の原小学校の校庭を使い、大人が20人以上も乗ることができる大きなやぐらを組み上げ、各町内会が模擬店のテントを張ります。太陽が傾き始める時刻になると地区のみんなが集まってきます。開会宣言に続いて、子ども神輿のパレードや、チアリーディング、ダンスに和太鼓といったアトラクションが目白押し。そして風が少しだけ涼しくなり気分も盛り上がったところで、いよいよ盆踊りの開幕です。そろいの法被あり、浴衣に団扇の正統派スタイルありとそれぞれが意匠を凝らして踊り踊って、阿久和の夜は更けて行きます。



宮沢地区

瀬谷区の花や鳥、四季折々の自然が楽しめる

地区の特色は

どんなところでしょう？

和泉川沿いは四季折々の表情が楽しめます。春は桜が咲いて、6月には瀬谷区の花でもあるアジサイ、秋になると彼岸花が咲きます。自然豊かで環境が良く、カワセミやウグイスが鳴いて、瀬谷区の鳥のオナガやカモもいます。こうした花や野鳥を撮影している方たちも多くいらつやいます。この地区には宮沢の森愛護会があり、その中の自然観察部会が観察の記録をつくってくれています。また、信号が一つもないこともこの地区の特色です。住宅地で本当にのどかなところだと思います。

一年を通じて、様々な行事や取組があるようですね。

5月から次の年の2月まではほぼ毎月、行事があります。そのほかの取



宮本 地区連合会長

組としては、夜間パトロールの防犯運動も行っています。また、夏休みになると、南瀬谷中学校、原中学校からそれぞれ20名ほどの生徒さんに集まっていたり、朝7時からごみ拾いしながらのパトロールをしています。そしてこの地区はお年寄りも多いため、宮沢連合自治会と宮沢地区社会福祉協議会が一体になって今後も高齢化への取組を行っていく予定です。毎月、第2金曜日に「ひまわり給食」というお年寄り向けの給食会を地区社会福祉協議会で実施しています。敬老会やバザーも一緒に行っています。また、高齢者を対象にしたレクリエーションで「歌声ラウンジ」を開催しています。100曲以上の中からリクエストで選ばれた曲を電子ピアノに合わせて、皆さん一緒に歌っていたできます。この地区ならではのユニークな取組かもしれません。さらに子育て支援を充実させるために、主任児童員を中心に毎月、南瀬谷地区と一緒に「子育て応援お母さんの集い」やお芋掘りを行っています。「子ども食堂」も毎月、第3月曜日に開催しています。

地区の将来像は？

今後子育て支援から高齢者の見守りまで幅広く対応していきます。高齢化が進んでいることを視野に、現在の行事をしっかり継続しながら若手にバトンタッチしていければいいですね。若手が担っていけば、より改革できると思います。

行事紹介



宮沢サマーフェスタ2019

地域住民相互の親睦と交流をより一層深め、地域の活性化・一体化を目指した夏祭り「宮沢サマーフェスタ2019」を松林公園（宮沢町第四公園）で開催しました。出店のほかにステージで合唱やダンス等が行われ、子どもからお年寄りまで楽しいひと時を過ごしました。



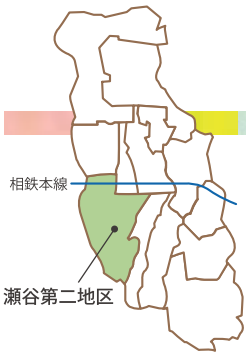
宮沢連合自治会秋季防災訓練

震災が発生した場合でも速やかに地域防災拠点を開設・運営ができるように、南瀬谷小学校で防災訓練を実施しました。地域の方のほかに、南瀬谷中学校の生徒がボランティアとして参加し、いざという時に備えて真剣に取り組んでいました。



敬老長寿のつどい

70歳以上の方を対象に毎年9月に行う敬老長寿のつどいは、昨年は100名以上の方が参加しました。式典の後、中学生による作文の朗読や吹奏楽部による演奏、保育園児による青森県今別町に伝わる荒馬踊りが披露され、参加者の方に楽しんでいただきました。



瀬谷第二地区

住民全体で見守る、心の通う温かい地区へ

地区の歴史や 特色を教えてください。



左から：鈴木 橋戸原自治会会長／網代 地区連合会長／菅原 地区連合副会長

瀬谷第二地区の発足は、昭和41年になります。瀬谷区が誕生する3年前の戸塚区の時に私たちの地区は作られました。当初は15の自治会でしたが、まちの発展と共に増え、現在は23の自治会・町内会で構成されています。

瀬谷区の中では、会員数・自治会数共に一番多い地区になっています。平成28年には、連合自治会創立50周年記念事業を実施いたしました。瀬谷区長森秀毅様をはじめ多くの御来賓の皆様にご臨席をいただき記念式典・祝賀会を盛大に開催できました事は忘れられません。

さらに、記念誌「翔」を編集・発行できましたことは、大変な誇りであります。連合自治会の「50年の歩み」や他自治会、活躍されている諸団体を知っていただくことは、今後一層地区の結束力を高めるものと思っています。

地区の行事には、 どのような特徴がありますか？

毎年6月に、瀬谷区役所の御指導・御協力をいただき境川・相沢川沿いの自治会・町内会の皆様を中心に風水害対策訓練を実施しております。

旧瀬谷保健所の御提案に賛同して地区全体で取り組む「いきいき瀬谷っ子事業」モデル地区として取組を開始しました。以来、夏には「水遊び」、秋には「ちびっ子フェスティバル」を開催しております。いきいき瀬谷っ子事業は、お子さん、お父さんお母さん、おじいちゃんおばあちゃんの三世代交流を図る機会として、さらに、地域の皆様と子どもさんが、また、子育て中のお母さんお父さんの交流を図る場作りを目的に行っております。

フェスティバルには、区内各地からはもとよりお隣大和市からも参加していただいております。

当日は、焼きいもを食べていたり、自分で焼いたパンを食べたり、さらに昔ながらの楽しい遊びも体験できます。

近年では、先生等に御協力をいただき、「子育て相談コーナー」も設けております。

地区の将来像は？

歴史あるこのまちをずっと支えてくださいました皆様の高齢化が進んでいます。

御高齢の皆様を大切に思い、地域で温かく見守り、支えるまちづくりに一層取り組んでまいりたいと思います。また、高齢化に伴い、認知症に対する心配も多く聞かれますが、認知症の理解促進と認知症予防対策の普及に積極的に取り組んでまいりたいと考えております。

行事紹介



ふるさと祭

毎年8月に、瀬谷第二小学校校庭で恒例のふるさと祭りが2日間にわたり開催されます。焼きそば、焼き鳥、かき氷やゲームなどの模擬店を各種団体や施設が出店し、子どもたちによるソーラン踊りの披露、鼓鶴会の和太鼓の演奏や盆踊りが祭りを盛り上げます。盆踊り「踊り手コンテスト」も行われ、夏の思い出として、地区の皆様のお楽しみの一つになっています。



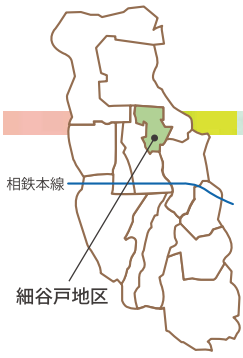
レクリエーション大会

毎年10月に、下瀬谷中学校校庭で、地区にお住まいの皆様のお睦と心身の鍛錬をはかり、明るいまちづくりにつなげようと、レクリエーション大会が開催されます。学校の周囲をコースとするマラソンに始まり、玉入れや綱引き、大縄跳びなど各種目への応援にも熱が入り、最後は地区年齢別リレーで盛り上がりは最高潮に達します。毎年、どの世代でも楽しめる種目で多くの皆様に御参加いただいております。



ゆずり葉の集い

毎年10月に、瀬谷第二小学校体育館で地区社会福祉大会「ゆずり葉の集い」が開催されます。平成11年から開催され、昨年で第20回目となりました。当日は、御長寿の皆様をお迎えして、昼食やアトラクション、最後は大抽選会で盛り上がります。アトラクションは毎年、演奏や演芸など、地域で御活躍の皆様にご協力いただき、趣向をこらした内容で御参加の皆様楽しんでいただいております。



細谷戸地区

地域は家族、和と理解と協力で住みよい細谷戸

いわばこの地区は、県営住宅の成り立ちと共に歩んできたといえます。現在は70歳以上が約40%を占め、瀬谷区の中でも高齢化率が一番高くなっています。みはらし公園や少年野球グラウンド、広場などもあり、また、集会所が2か所あり、各種行事にも、住民の集まりが良く参加しやすい地域です。

昭和29年から30年に神奈川県県営住宅モデル地区として県営細谷戸住宅が建てられ、その当時は若い世帯が多く1,560世帯もありました。その後、平成の初め頃から建て替えが進められ、現在の5階建ての住宅になりました。

県営団地を中心に、住民の日常を支えてくれる商店街、その周辺に暮らす一戸建てなどで構成されている地域です。

**地域の歴史や特色は
どんなところでしょうか？**



左から：大坪 地区連合会長／古瀬 細谷戸ハイツ第二自治会会長／長井 細谷戸ハイツ第三自治会会長

**具体的な行事や
取組を教えてください。**

連合会の福祉対策では、高齢者の見守りに力を入れており、様々な事業に取り組んでいます。転倒予防体操とラジオ体操をそれぞれ週に1回、サロンは月1回開催し、毎月約60名が参加します。スタッフはみんなボランティアで、自分から参加していただいています。ピーハイブ活動の一つである「安心キット」の取組は、緊急時の対応に有効で、引き続き力を入れていきます。

また、子ども向けの行事にも力を入れ、スポーツや対話等を行っています。団地内の一室を県から無償で提供いただき「おあしす102」を平成30年にオープンしました。地域の皆さんに御利用いただくとともに、月2回子どもの居場所としての取組も進めています。

平成30年に瀬谷団地連絡道路が開通し、交通事故が増えていますので、住みよいまちになるよう対応を検討しています。

地区の将来像は？

旧上瀬谷通信施設の跡地開発等で大きな変貌があり、車両も多くなるのではないのでしょうか。また、公営住宅ということから、外国籍の方もおり、地域をまとめることも大変になっていくと思います。

子どもから高齢者まで、誰もが笑顔で、お互いが協力しあう地域であって欲しいと思っています。

行事紹介



どんと焼き

1月エコ広場で毎年恒例のどんと焼きが行われ大勢の方が訪れます。竹の筒でお燻したお酒やお汁粉を振る舞い、細谷戸地域の皆さんの無病息災を願います。せや福祉ホームや愛成苑の方も参加し、おだやかな時が流れます。最後にお楽しみの焼き芋も！子どもたちの楽しみの一つです。



細谷戸ふるさと祭り

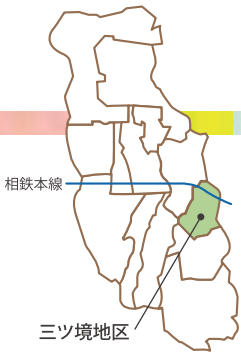
11月に細谷戸集会所でふるさと祭りが開催されます。団地中心の連合のため、住民の入れ替わりも多いこの地域ですが、「いつまでも細谷戸をふるさととして愛着をもってもらいたい」という気持ちを込めて実施しています。

演芸や地域の方のフラダンス、カラオケ披露、自治会等による模擬店など、みんなが笑顔で楽しめる催しです。



ピーハイブ活動

高齢者の孤独死をなくそうと「ピーハイブ活動」と命名し、ハチの巣のようにきめ細かな見守り活動を平成20年頃から始めました。いざという時にかけつけの医者や薬、緊急連絡先を記入した「安心キット」の取組は、他地区でも取り入れられるとともに、宇都宮市の社会福祉協議会も見学を訪れ、意見交換を行うなど、広がりを見せています。



三ツ境地区

商店街と住宅地と緑がある、鉄道開業で新しく開けたエリア



左から：篠原 地区社協事務局長／諸橋 地区連合会長／酒井 睦会会長

地区の特色を教えてください。

高度経済成長期からの相鉄線の発展に伴い、三ツ境駅を中心にこの地区は急激に発展しました。人口密度は区内で比較的高いと思います。また、この辺りは駅前の商店街と住宅地と緑のバランスがちょうどいいところが魅力です。丹沢と富士山が今でもきれいに見えます。山林を開拓したところなので、坂が多く、起伏がありますが、程良いアップダウンがあり健康にはいいかもしれませぬ。そして駅前の商店街がずっとこの地区を盛り上げてくれています。昭和の時代には映画館があったほど活況を呈していたようです。しかし最近では大型店の影響もあり、個人商店が少なくなっていることも事実です。

地域の主な取組は？

平成25年から連合自治会、地区社会福祉協議会を中心に、民生委員児童委員協議会などの諸団体が集まって「三ツ境地区住みよいまちづくり推進委員会」という組織を発足しました。そこで高齢者世帯への「見守り活動」や「三ツ境地区サポーターズ」などの活動に取り組んでいます。「三ツ境地区サポーターズ」は、七夕灯籠祭りなどのイベントのお手伝いをする「地域活動グループ」、麻雀教室やカラオケ同好会を開く「趣味・特技活動グループ」、庭の掃除・剪定などをサポートする「日常生活支援グループ」の三つの柱で活動を行っています。

地区に寄せる

将来像をお聞かせください。

日常生活支援の集いで皆さんに自己紹介をしてもらった時、本当に全員が「地域のお役に立ちたい」と言ってくれました。そういう熱意のある方々にもっと参加していただいで、今後も住みよいまちにしていければと思っています。次の担い手をつくるために、楽しみながら実行することが大事ですね。「参加してよかった！楽しかった！」と言えるような雰囲気づくりが、この地区のさらなる活性化につながるはずです。

行事紹介



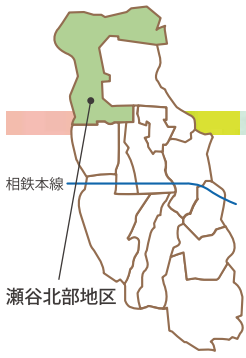
元気はじける「三ツ境の夏祭り」

例年8月、暑さ厳しい最初の土日、三ツ境駅の南口はいつもにも増して大騒ぎとなります。商店会や地域自治会が協力して開催する恒例の夏祭り、駅前から300mにわたって賑やかな出店が続き、焼き鳥・焼きそば・お好み焼きなどの香ばしい匂いが鼻をくすぐり、肌もあらわなサンパチームが通りを練り踊ります。この夏祭りは昭和32年8月7日の白姫神社の遷座日にあわせて行われる夏祭りでもあり、地域が大切に保管する神輿渡御の場にもなります。祭り2日目の日曜日午後には三つの神輿が競り合う「華合せ」も行われ、祭りは最高潮を迎えます。祭りが終わってひと段落すると、毎年、秋はもうすぐそこまで迫ってくるのです。



ふるさとまつり三ツ境地区レクリエーション大会

体育の日前後の秋の日、恒例のふるさとまつり三ツ境地区レクリエーション大会を開催します。昨年は特に区制50周年記念事業として、昼休みを中心に記念イベントを開催しました。まずは三ツ境小学校在校生がカードに書いた“将来への夢と希望”を色とりどりの風船に託し、参加者全員で“天まで届け！”と空に放ちました。続く三ツ境歴史クイズ大会では、6問のふるさと歴史クイズを出題。最後まで勝ち残った50名に瀬谷区制50周年記念切手シートをプレゼント。さらに希望者には10年後に大切な人（あるいは自分自身）に届くタイムカプセルハガキを書いてもらいました。プログラムの最後は、幅広い世代をタスキでつなぐ「三ツ境リレー」。昨年は特に50周年記念として取りきりの「諸橋杯」が寄贈され、大いに盛り上がりました。



瀬谷北部地区

「旧上瀬谷通信施設」跡地で、「国際園芸博覧会」開催を願う

地区の特色は

どんなところでしょう？

この辺り一帯は、昔は農家が多い非常にのどかなところでした。今でもずっと農家を続けている世帯もあります。じゃがいも、さつまいも、里芋、白菜、小松菜、ほうれん草などが特産品で、直売所でも大変人気があるようです。このように昔からの農家がある一方、新しい住民も段々と増えています。地区の北部には「マースプリングス」という、約800世帯が暮らすマンションと戸建ての複合住宅地もあります。ちなみにこの名前ですが、住宅地周辺の土地を1,000mほど掘ると温泉が湧くことに由来しています。瀬谷区の中でも、温泉が湧くのは、この地区だけではないでしょうか。



奥津 地区連合会長

地区の一番の見どころは？

やはり海軍道路の桜並木です。この地区の何よりの自慢です。桜が咲くシーズンには多くの方々が訪れて、かなりの賑わいを見せます。

地区の

将来像をお聞かせください。

米軍の施設として使用されていた「上瀬谷通信施設」が、平成27年6月に返還となりました。地区住民の願いがやっと叶ったわけです。この跡地活用として、「国際園芸博覧会」を招致するために、現在、一生懸命に進めております。このような国際的なプロジェクトが開催できれば、土地の基盤整備などが非常に助かり、地域活性化の強力な後押しとなります。半年の間に1,500万人以上の集客が予想されますが、これは上瀬谷地区にとつて大変意義のあることだと思えます。今までは横浜市というと、横浜駅周辺や湾岸エリアに注目が集まっています。しかし「国際園芸博覧会」開催となれば、瀬谷区も新たに注目を浴びるのではないのでしょうか。新たな公共交通も導入の必要がありますし、将来の発展性も見違えるように変わっていくのではと思います。

また、今後は子どもとお年寄りを大切に、連合会と社会福祉協議会が互いに協力し合って、より素晴らしいまちづくりを目指していきたいです。

行事紹介



ふれあい食卓会

中屋敷地区センターの体育館で地区社協・むつみ会の方が中心に、参加者(77歳以上)とお手伝いの方で地域交流をしながら昼食をいただきます。また、昼食後はビンゴゲーム等で楽しいひと時を過ごします。150人を超える方が、参加されます。

各町内会の方が会場の準備、参加者の送迎をし地区が一体となって実施されています。



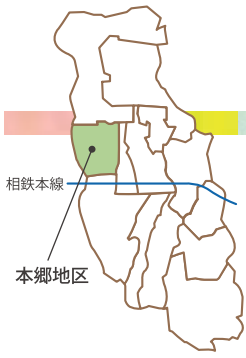
レクリエーション大会

上瀬谷小学校グラウンドで、毎年10月に地区の町内会対抗の形でレクリエーション大会が開かれます。地区の皆さんの親睦を図り、どの世代の方でも楽しめるように、三輪車リレー、グラウンドゴルフ、地区別年齢別リレーなど、多彩な種目が用意されています。昼食をはさんで夕方まで、優勝杯を目指した熱戦が繰り広げられます。



交流フェスティバル

県立瀬谷養護学校で毎年12月に行われます。会場は学校ですが、地域の福祉事業所、町内会、地区社協などと実行委員会を作り運営する「地域のイベント」です。吹奏楽などの「ステージプログラム」、福祉事業所の製品、地元の野菜、地元商店の味噌、麴等の「販売」、パトカー、白バイの試乗などの「イベント」が行われます。



本郷地区

「相模凧」の伝統が続く、七色の交流が広がるまち

地区の歴史や特徴は どんなところでしょうか？

昭和40年頃から家が増加しました。それ以前は農家と畑があるだけでした。また、この地区には、昔から「相模凧」の風習がありました。今でも農家で長男が生まれると、鯉のぼりと兜と凧の三つを行う風習が残っています。昔の凧あげは、たみみ一畳ぐらいの大きさで大人10人ぐらいであげました。この風習を汲んで、現在、5月の第2土曜日に瀬谷本郷公園で行われているのが、大門小学校PTAの「たこあげ大会」です。たくさん子どもたちが色とりどりのビニール凧をあげます。凧あげを通して交流できるよい機会となっています。



左から：青木 本郷第一自治会副会長／上田 地区連合会長

具体的な行事や 取組を教えてください。

毎年、11月に日枝社で「ふれあい文化祭」を行います。境内で地域の人たちが10店ぐらいの模擬店をやりますが、大盛況です。地場産の野菜や、つぎたてのお餅も販売します。瀬谷中学校吹奏楽部の演奏や大門小学校放課後キッズクラブのダンスなどを行うのですが、人気があります。1,000人ぐらいが来場します。また、9月に7日間「レインボーオーキング」を開催しています。レインボーという名前のとおり、七つのコースがあり、地区内の名所などを回れるようになっていきます。楽しみながら健康づくりができるので、大変盛況です。そして若い世代と高齢者の交流もあります。瀬谷中学校の囲碁将棋部に、高齢者の方たちが指導のために月に一度、お手伝いに伺います。また、大門小学校で昔遊びを年に1回教えています。今後は交流がもっと盛んになればいいと思います。

地区の将来像は？

新たに地区に住み始めた方たちも自治会に快く入ってくれています。皆さんそれぞれに得意なことがあると思いますので、得意な分野で行事や取組にうまく参加してもらえるといいと思います。今後は新しい方たちと一緒に、本郷地区をもっと盛り上げていけたらと考えています。

行事紹介



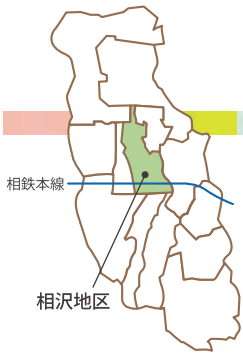
レクリエーション大会

レクリエーション大会は、連合の運動会として令和元年に46回目を数えました。出場者への声掛けに自治会毎の苦労はありますが、当日は、例年たくさんの方が参加し、地域の交流の場として、とても盛り上がっています。本郷地区は、15歳以下の人口割合が、瀬谷区内の連合で比較的高く、たくさん子どもたちも参加しています。綱引きや、障害物競争はもちろん、全員が参加するフォークダンスなど、スポーツ推進委員の方々が、毎年趣向を凝らして企画しています。



敬老福祉大会

敬老福祉大会を、地区センターの体育室を会場に開催しています。200人以上の方が参加するビッグイベントです。午前中から始まり、数々の出し物があり、お昼をみんなでもいただきます。午後にも歌や踊り、太鼓が披露され、最後はビンゴゲームを行います。出し物は、瀬谷養護学校、大門小学校、瀬谷中学校の児童、生徒さんたちの歌や踊りのほか、消費生活推進員の啓発講座などもあります。高齢者の方々が地域とつながりながら、いつまでも本郷で元気に暮らしていただきたいという思いが、会場いっぱい広がります。



相沢地区

伝統行事「どんど焼き」を、現代の子どもたちにも伝える

「どんど焼き」です。第五から第八の四町内会が集まって、瀬谷諏訪社で1月14日前後の土日に大々的に行っています。元々は五穀豊穡、無病息災を願うためのお正月の火祭りでしたが、現在は子どもたちが主な対象です。お正月のしめ縄やお飾

**ここが地区の自慢というものを
お聞かせください。**

地区の特色を教えてください。
瀬谷諏訪社や相沢山長天寺を中心にこの辺りは発展していったようです。町内会の発足も昭和14年です。戦前からの歴史ある地区といえます。50年ほど前は、桑畑が多く、タヌキやヘビも出て、自然環境が大変豊かなところでした。人家が増えているものの現在も自然が残り、程良いバランスで住みよい地区だと思います。



左から：山宮 相沢第八町内会会長／木村 地区連合会長

りなどを集めて火で燃やしますが、残り火で炙った団子を食べると、一年を健康に過ごせるという言い伝えがあります。また、失敗した書き初めを燃やし煙が高くまで上がると、その書き初めを書いた子どもは字が上手になるといふ言い伝えもあるんです。「どんど焼き」は、子どもたちにも日本の伝統行事を伝えられる、この地区恒例の自慢の行事だと思っています。

**その他にも、
独自の取組などがありますか。**

「二ツ橋地名由来の碑」の維持管理を第一町内会の老人会が行っています。石碑には『しみじみと清き流れの清水川かけ渡したる二ツ橋かな』という、徳川家康の和歌が刻まれています。ここへ毎月第3の日に5名ほどが集まり、掃除や草木の刈込みをします。清掃作業が終わると皆さん清々しい気持ちになるようです。

**地区の将来像は
どのようなものですか？**

9月のお祭りなどは、多くの小学校、中学校の生徒がボランティアで手伝ってくれています。将来はこうした皆さんに相沢地区を担っていただければと願っています。子どもたちが成長したら、自分たちの手で運営できるように、行事を楽しく盛り上げて、次に引き継ぐのが私たちの役目だと思います。

行事紹介



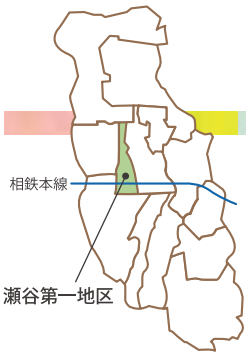
第8回相沢ふれあいのつどい

相沢地区の「社会を明るくする運動」として実施されている「ふれあいのつどい」は、令和元年で第8回となりました。この行事は、相沢地区社会福祉協議会と相沢町内連合会の共催で実施されており、更生保護への理解を深めるだけでなく、世代間の交流を図ることを目的に、瀬谷小学校をはじめ、地区内の各種委員団体、福祉事業者等、多くの関係者の協力のもとに行われています。



相沢秋季大運動会(第50回記念大会)

相沢町内連合会の秋の恒例行事となっている大運動会が、50回目の開催を迎え、記念大会として行われました。町内対抗玉入れや、ボール運びリレーなど、第一から第八町内会の皆さんが一致団結し、しのぎを削る様は、とても盛り上がりを見せました。また今回は50回を記念して、豪華賞品が当たる抽選会も行われ、いつもにも増して白熱しました。



瀬谷第一地区

さらなる発展が期待できる、“瀬谷区のおへそ” 中心エリア

地区の特色を教えてください。

この地区は瀬谷区内を走る相鉄線の瀬谷駅を中心に位置しています。そういう意味では、“瀬谷区のおへそ”と言えるかもしれません。地形的には区内でも、アップダウンの少ない平らな地域だと思えます。また、米軍の施設として使用されていた「上瀬谷通信施設」地区の南側にあります。従って、この跡地活用に関しては、瀬谷第一地区の住民は非常に関心を持っています。現在、「国際園芸博覧会」招致の動きがありますが、有効活用できれば駅周辺の整備もあわせて、この地区がさらに発展できるのではと思っています。

独自の取組などがあれば教えてください。

平成20年から見守り活動の一環として「WAT運動」を実施していま



左から：大粒来 中央町内会会長／山田 中原町内会副会長／山家 中原町内会会長／水村 本郷第四自治会会長／横山 地区連合会長／中嶋 東町町内会会長

す。Wは、WATCH(見る)、AはACTION(行動)、TはTEAM(チーム)の略です。ほかの地区に比べると高齢化率は低いのですが、核家族が増えて、高齢者でひとり住まいの方もいます。さらに空き家問題などもあり、世代交代がうまくいっていない世帯もありますので、「WAT運動」がさらに広がっていくといいと思います。

また、瀬谷四丁目公園では高齢者を対象に「朝の体操」を行っています。近隣の町内会から集まり、参加人数は現在、40人を超えました。10年以上続き、最高齢の参加者は92歳の方です。土・日曜日以外は、ほぼ毎日行っています。毎日参加者が顔を合わせることで、見守りの活動の一つになると思っています。

地区の将来像は？

瀬谷第一地区は、新しく住んだ方たちと昔から住んでいる方たちが共生している地区です。ですから、昔からの習慣を受け継ぎながら、新たに住んだ方たちと連携して行事を進めています。この連携をさらに強化すれば、より太いネットワークになるのではないのでしょうか。

そして現在、瀬谷駅南口に大型マンションが開発されています。将来ここに暮らす住民の方たちとどのように地区のまとまりを作り出していけるかが、さらなる発展の鍵の一つの鍵になります。

行事紹介



社会を明るくする運動「瀬谷第一地区地域の集い」

「社会を明るくする運動」として、更生保護の原点をふまえつつ、地域の中で青少年が健やかに成長できる環境づくりをみんなで一緒に考える場として、毎年「地域の集い」が行われています。

令和元年度は「障害者とともに元気に安心して暮らせる地域づくり」をテーマに、障害者施設施設長の講演、作業所で働く仲間たちの活動紹介、障害を持ちながらスポーツで活躍する少年のお母さんのお話などが紹介されました。

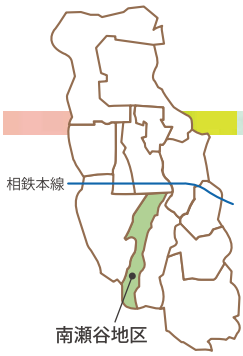
また瀬谷小学校・中学校合唱部によるコンサートや、体験パラスポーツでポッチャにトライなど、盛りだくさんの内容で参加者も楽しんでいました。



瀬谷第一地区連合レクリエーション大会

平成30年度で47回を数える地区最大のイベントです。連合・社協を始め、地域の各団体で実行委員会を組織し、時間をかけて準備を進めます。

当日は未就学児から高齢者まで、地域の老若男女が会場の瀬谷中学校にそろいます。綱引きや二人三脚、人気競技のパン食い競争など、青空のもとで競技に汗を流し、地域の交流と顔の見える関係づくりに大いに貢献しています。



南瀬谷地区

連合、地区社協が両輪となって地域(まち)を育てる南瀬谷

地域の特徴は どんなところでしょう？

福祉活動が大変さかんな地区です。地区の中央に位置する市営南台ハイツのところに、かつては平屋の市営住宅がありました。その当時から助け合いの精神があり、福祉活動も積極的に行われていたようです。そして今日では、福祉活動に関しては地区社会福祉協議会が中心に進めています。それを自治連合会が全面的にバックアップする形をとっています。「福祉は南瀬谷」とお褒めの言葉をいただいたこともあるくらいです。現在、自治連合会と地区社会福祉協議会の二つが両輪となり、お互いに信頼関係を築き連携しながら、地区の様々な活動を進めています。また、この地区のスローガンは「みんな育てよう暮らしやすいまち みなみせや」です。実は、地区を走る相鉄バスで、このスローガンを車内



左から：森谷 地区社協事務局長／瀬谷 地区連合会長

放送していただいています。こうしたアイデアも、南瀬谷地区ならではのですね。

具体的な行事や取組を 教えてください。

5月に行われる「福祉バザー」は毎年大盛況で、60万円ぐらいの売り上げがあります。各自治会の御協力で、品物を集めていただきます。売り上げは、高齢者サロンや配食サービス・子育てサロン・プレイパークなど、福祉活動の大切な運営資金になります。また、地域のメイン行事として、8月に二日間開催する「連合まつり」は、多くの住人が楽しみにしています。平成30年は、両日で3,000人ほどが集まりました。このお祭りは、住民の親睦と顔の見える関係づくり、子どもたちのふる里づくり、日本の文化の伝承のために行っています。この行事は、50〜60歳代のプチ同窓会にもなっています。

地区の将来像は？

一部の人が頑張るだけでなく、みんながまちづくりを頑張る、1人が頑張ると100歩進むよりも、100人が一歩ずつ進んで活動するまちにしたいですね。今、若手の方たちから新しい活動が生まれる雰囲気になりつつあります。ですから、まずは自分たちにとつて楽しいこと、身近なことでもちづくりに参加してもらって、地区の活動をじっくり固めていければと思います。住民同士が協力して「みんなが暮らしやすいまち」を実感できる地区にしていきたいですね。

行事紹介



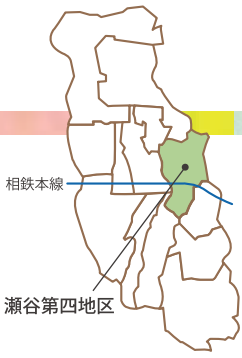
南瀬谷連合まつり

「南瀬谷連合まつり」は、平成の初め頃から夏の風物詩として開催されている、南瀬谷自治連合会の伝統行事の一つです。南瀬谷中学校の校庭に、盆踊りの櫓や数多くの模擬店が出店し、会場は地域住民で賑わい溢れています。地区社協をはじめ、小中学校、各自治会、地元サークル団体等が協力し、夏の暑さに負けず、地域全体で2日間にわたりお祭りを盛り上げています。住民の親睦と顔の見える関係づくり、日本文化の伝承などに大きな役割を担っています。



南瀬谷地区高齢者福祉大会

毎年11月3日に行われる「南瀬谷地区高齢者福祉大会」は、70歳以上の方にお声掛けし200名以上の方が参加されます。お好きな飲み物を選んでもらい、アトラクションを楽しむサロン形式になってから、参加者が毎年増えています。アトラクションは、小中学生、民生委員、地域ケアプラザ職員、地元サークル等による踊りや体操、ピアノの伴奏によりみんなが歌を歌うなど、参加者の方がゆっくり楽しめる会になっています。



瀬谷第四地区

「瀬谷市民の森」の緑、清らかな和泉川の流れ



大柴 地区連合会長

**地区の特色は
どんなところでしょうか？**

南部は三ツ境駅と隣接していますが、北部は「瀬谷市民の森」がありますので、木々が生い茂って緑豊かな地区だと思えます。地区の中を和泉川が流れて、その源流が「瀬谷市民の森」にあります。川沿いは整備されているので、源流を辿って散歩するのも良いです。お年寄りが川沿いを歩いて、健康維持にも役に立っているようです。そういう意味では非常に住み良い地区だと思えます。地区の中心を中原街道が通っていますが、昔は街道の周辺に競馬場や牧場があったと聞きます。また、この地区は相模国と武蔵国の境目に位置したそうです。歴史的な観点からも、今の瀬谷第四地区あたりは要所だったのではないのでしょうか。

**この地区、独自の活動があれば
教えてください。**

瀬谷区制50周年に先駆けて、3年前に第四地区創立50周年の記念誌づくりを行いました。当初は非常に苦労したのですが、協力者として自治会会長歴代OBの皆さんが非常に活躍してくれました。住民の皆さんの御協力もあり、一冊の記念誌として完成できたのは、本当に思い出深いです。ここ一番の時の結束力は強いと思います。また、地区の中には、二つ橋小学校、東野中学校、瀬谷高等学校、二つ橋高等特別支援学校、三ツ境養護学校といった様々な学校があります。学校を活動基盤にして行事を行う際は、中学校や高校の生徒に御協力いただき、イベントを盛り上げてもらっています。

地区の将来像は？

若手を育てる仕組みづくりを進めていきたいです。地区の未来のためにも、私たちが現在、行っている仕事を最終的には若手の方たちに引き継いでいただきたいという想いが強くあります。地区の仕事をまず手伝っていたら、徐々に仲良くなっていっていただければ、活動の中に入れていければ、非常に嬉しいです。子どもから高齢者まで、行事や取組を通して地区の交流があるほど、お互いが段々と寄り添っていけると思います。

行事紹介



きずな活動

地震等の災害による被害予防や減災活動を効果的に行うために、日ごろからの見守り活動の取組や、顔の見える関係づくりが必要になってきています。平成24年4月に地区連合自治会、地区社会福祉協議会、地区民生委員児童委員の共同による「第四地区のきずな」を立ち上げ活動を進めています。

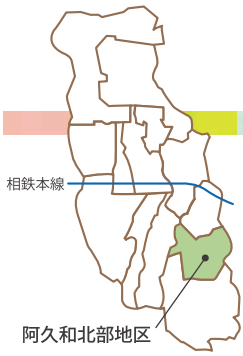
災害発生時の避難支援や要援護者の把握のための会員カードの作成、自治会役員・民生委員の連携による見守り活動等が行われています。



防災訓練

第四地区では以前から実施してきた各種防災訓練を見直し、その向上を図っています。特に災害時の要援護者救済については、連合自治会、自治会、第四地区社協が一体となって取組を始めています。具体的には、自治会ごとに支え合いカード等を活用し、見回り・見守り活動を行っています。

秋季防災訓練は東日本大震災以後、地区の方たちの震災への関心度が増し、400名を超える方が参加しています。また、地域の中학생も応援に駆けつけてくれています。



阿久和北部地区

「みまもりの家」と「長屋門公園」、二つを中心に地域交流もさかんに

地区の特色を教えてください。
 地区のほぼ中央に位置する、阿久和向原第二公園の一角に「みまもりの家」があります。この建物は、見守りの拠点として交流や情報の発信の場となるように、平成25年に建てられました。公園の中にこのような施設があるのは、横浜市で初めて。ここでは小さな子どもから、お年寄りまで幅広く利用でき、世代を超えて交流ができるところが魅力です。また、「長屋門公園」もこの地区ならではの味わい深い施設です。園内には江戸時代後期の古民家があり、囲炉裏、かまど、農機具などが保存されています。さらに湧水と杉林、四季折々の草花を楽しめる、野趣豊かな散歩道もあり、大変風情があります。



左から：相原 地区社協会長／高岩 地区連合会長／高橋 谷戸自治会会長／飯沼 地区社協事務局長

地区の将来像は？
 「みまもりの家」や「長屋門公園」など他地区にはない資産を活用しながら、住民同士が「向こう三軒両隣、お互いに助け合い、見守り合える関係づくり」を軸としたこれまでの活動を継続していくことが大事だと思っています。子どもから高齢者まで「ここが自分のふるさとだ」、「住んでいて良かったな」と思える地区にしていきたいです。

力を入れている行事や取組はありますか？
 毎年、7月第1土・日曜日に「七夕灯籠祭り」を三ツ境地区と合同で行っています。三ツ境駅前から手作りの灯籠が93基ほど並びます。そのうち、400基の灯籠は原中学校美術部の生徒たちの手で、阿久和向原第二公園に配置、デザインされます。光と影の幻想的な光景は圧巻です。また、この灯籠は、中に入れる蝋燭も含め、全て阿久和北部連合のボランティア団体である「おやじの広場」のメンバーの手作りです。そのほか、子どもたちの見守り活動と地域の交流を兼ねた「こども食堂・大カレーパーティー」を開催しています。現在、お笑い芸人を呼ぶなどして趣向を凝らし、人気イベントになっています。そして平成30年から、高齢者などの買い物困難者の支援事業として、「移動販売車のサービス」もスタートしました。

行事紹介



見守り合いの集い

「向う三軒両隣、誰もが見守りあえ、助け合える地域づくり」を目指し、普段からどんな心構えを持っていないかを確認するため、毎年11月第1日曜日に「見守り合いの集い」を開催しています。福祉や防災に関連したテーマの講演会を中心に、地域に関連する53団体の活動紹介パネル展示、模擬店、音楽やダンスの披露、小中学校の生徒から募集した標語や作文発表、子どもを対象としたあそびのフェスティバルなど、さまざまな交流イベントを行っています。



長屋門公園を利用する地区イベント

夏休み最後の土曜日の夜、長屋門公園の前庭で子ども向けの映画会を開催しています。18時からカキ氷やポップコーンなどが無料でふるまわれ、ミニゲームの成績でお菓子もゲットできます。屋外でみんなと一緒に映画を見るという貴重な機会を皆さん楽しみにしています。

また、9月の敬老の日前後に「敬老寄席」を開催しています。真打の落語家や講談師の演目を間近で見られるまたとない機会です。お年寄りの方に限らず地域の方ならどなたでも参加することができます。